



**問** 庁舎窓口に、軟骨伝導イヤホンの導入を！

**答** 窓口サービスの利用向上へ、前向きに検討する

軟骨伝導イヤホンは、耳穴にイヤホンを挿入しなくて済み、骨伝導であるため音漏れが少なく、クリアな音声を提供できます。高齢化が進行し、難聴の症状を持っている方が増えているため、窓口での会話

が大きな声になって、他の利用者に聞こえてしまうことがあります。

**問** プライバシー保護や利便性向上のために、窓口に軟骨伝導イヤホンの導入が必要と考

えるが。

**健康福祉課長** 行政窓口の利用向上の視点から、他の自治体の導入状況・事例などを参考に、前向きに検討していきます。

**問** 手続きがワンストップで出来る「おくやみコーナー」の設置を！

**答** 様々な解決すべき課題があり、今後慎重に検討する

おくやみコーナーは、多岐にわたる手続きを一括して行うサービスです。家族が亡くなった際の手続きは、悲しみの中で行わなければなりません。複数の窓口を訪れ、申請書

を提出することは、遺族に大きな負担になっています。

**問** 手続きの負担が軽減できる「おくやみコーナー」の設置が必要と考えるが。

**町民税務課長** 現行窓口におけるスペース確保の問題や、専任職員の配置、コーナー利用頻度など解決すべき課題があり、今後慎重に検討したい。

**問** AEDのバックに三角巾を一緒に収納してほしい

**答** AED全個所に三角巾の設置を早急に行う

突然の心停止の原因は、心室細動です。AEDの電気ショックが最も有効な治療法になります。心停止で女性が倒れた場合、居合わせた人が体に触れることを躊躇して、救命措置が遅れる傾向があります。

ておくことは有用であると考えます。今後、全個所への設置を早急に行います。

中学校の休日部活動が地域移行します。グラウンドで部活動中に心停止を起こした場合、校舎・体育館が施錠している可能性があります。

**教育次長** AEDの屋外設置を部活動地域移行の課題の一つとして、今後検討していきます。

**問** AEDに女性の胸元を隠したり、止血にも利用できる三角巾を一緒に収納することが有効と考えるが。

**総務課長** 三角巾を用意し

**問** グラウンドから、すぐ利用できる場所にAEDの設置が必要と考えるが。

